

講義名称	保育内容 言葉	担当教員名	豊田 順子
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の内容・方法 (PM) 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMPM1122

授業のキーワード	領域「言葉」のねらい (心情) (意欲) (態度) の育ちを学ぶ (感性と表現の豊かさ)
授業の概要	言葉は日常生活の中で養われ、思考の媒体、コミュニケーションの成立と行動の調整機能に欠かせないものです。そこで言葉の発達や指導法について学びます。児童文化財に触れ、豊かな感性を育み、保育技術を学びます。
期待される学習成果 (目標)	他の領域と関連付けながら総合的に考え、子どもと共に生活の中で、言葉を育て、心を育てる事ができます。子どもにとっての「言葉の獲得」を様々な実践事例を理解することができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	ガイダンス	自己紹介、講義内容の説明・教科書の扱い方
2	幼児教育について1	幼児教育の基本を知る。 ・環境とは?遊びとは?
3	幼児教育について2	・幼児期の特性について ・教師の役割
4	領域 (言葉) について	領域「言葉」の ・ねらいと内容について
5	乳幼児期の発達と領域 (言葉)	・からだで感じる世界 ・自分で広げる世界
6	乳幼児期の発達とことば	乳幼児期のことばの発達と大人の存在
7	信頼関係から生み出されることば	・ことばにならない表現の読み取り ・居場所、居方について
8	自分の考えや思いを伝えることば	・相手に伝わることば ・感情体験とことば
9	ことばが広げる子どもの世界	・話しことば ・書きことば
10	子どもの心を動かすことばの楽しさとは	・ことばの響き ・リズム ・詩やうたとの出会い
11	児童文化財を通して1	・素話について ・民話や昔話を知る
12	児童文化財を通して2	・紙芝居の歴史と実践 ・絵本の歴史と内容について
13	児童文化財作りの実践1	ペーパーサート作り ・グループ作り
14	児童文化財作りの実践2	・それぞれに作業を進める ・必要に応じて話し合う
15	実践とまとめ (作品の発表)	言葉を通して相互に伝え合う喜びを実践を通して味わう。作品の批評も行う。

定期試験	筆記試験
評価方法	筆記試験70%、授業30% (授業態度、提出物、実践など) 応答性のある授業内容にし、意欲を高めていただきます。
使用する教科書 (必ず購入してください)	『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』(桐萌文書林)
参考文献	随時紹介 (毎授業の前に言葉遊び、伝承遊び、自然物を使った遊びなどを取り入れながら進めていくので、気付きの拠り所にしてください。)